

## 平成28年度 第2回 学校関係者評価委員会議事録【こども環境科・介護環境科】

日 時 平成29年2月27日（月） 16:30～17:20

場 所 学校法人 北海道学院 釧路専門学校 5階 第5講義室

出席委員 工藤 映美 (釧路市私立幼稚園連合会 理事・認定こども園よしの 副園長)  
諫山 邦子 (北海道教育大学釧路校 教育学部 准教授)  
伊東 義光 (日本介護福祉士会北海道支部根釧地区支部 支部長  
道東勤医協 ヘルパーステーションすこやか 所長)  
住尾 盛 (釧路市PTA連合会 会長・地域住民)

欠席者 洒井 恵 (釧路市私立保育園連合会 副会長・釧路まりも学園 旭保育園 園長)  
小野 信一 (社会福祉法人 釧路市社会福祉協議会 事務局長)

観察者 種市 司 (釧路専門学校 校長)  
阿部 みつゑ (釧路専門学校 副校長)  
武藤 篤訓 (釧路専門学校 こども環境科学科長)  
渡邊 千華子 (釧路専門学校 介護環境科学科長)  
氏原 陽子 (釧路専門学校 こども環境科 教務担当)  
若生 みゆき (釧路専門学校 事務主任)

配付資料 ○議案書（委員名簿・次第）  
○平成28年度 第1回 教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会議事録  
○平成28年度 学校自己評価のまとめと27年度との比較グラフ

議 題 1) 司会者の決定  
・伊東委員が司会者に選出された

2) 職業実践専門課程に関わる経過報告（種市）

3) 前回議事録の確認  
資料 平成28年度 第1回 教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会議事録 参照

4) 今年度の自己評価について（武藤）  
資料 平成28年度 学校自己評価のまとめと27年度との比較グラフ 参照

①説明  
・学校の将来構想が低い評価になっている。学校運営の意思決定機関、人事・給与の規定について、教務財務の組織整備なども低い。  
・教育課程については、3.1以上の評価をもらっている。  
・指導評価や成績評価基準の明確化の部分も低く、過去の厚生労働省の指導でも指摘があった。  
・学生の受け入れ体制および法令遵守はおおむね良い評価。また、社会貢献・地域貢献についても良い。

②説明に対する質疑応答  
【伊東委員から問題提起】  
・評価してみてどのように感じたか、率直な意見を頂きたい。

**【住尾委員から意見】**

- ・読み解きながら評価をするのは困難な部分が多く感じた。学校のことをもっと知るべきだと思う。日常的な学生の状況など見せて頂きたい。

**【工藤委員から意見】**

- ・学校のことをあまり理解していないまま評価を行うのは抵抗があった。学校内を回る機会を是非つくってもらえると、また違う評価ができると思う。

**【諫山委員から意見】**

- ・他の委員の方と同意見。授業見学も希望したい。

**【工藤委員から質問】**

- ・財務関係で、会計監査などは行われているのか？

**【学校側から回答】**

- ・法人としての監査が入っている。現在ホームページにて情報公開している。(種市)

**【住尾委員から意見】**

- ・学生を集める為の取り組みについて、卒業後資格を取得した時に生活の面や将来の展望を想像できにくいのではないかと？

**【工藤委員から意見】**

- ・処遇改善になるようなシステムが必要。自治体によってはなかなか難しい。

**【住尾委員から質問】**

- ・関連企業からの求人数について知りたい。

**【伊東委員・工藤委員から回答】**

- ・介護業界も保育業界も人員不足。求人先が余っている状況。
- ・専門分野によっては、倍率が大幅に変わる様子。

**【諫山委員から意見】**

- ・モチベーションの高い方にとっては、やりがいを感じる仕事でステップアップも魅力だと思うが、大変な職種だと感じている方に対してはどのようにしたらいいのかと思う。

**【伊東委員から意見】**

- ・自己評価の内容で、変更・改善点等あれば、意見をお願いしたい。

**【諫山委員から意見】**

- ・学生支援の部分はどこを見て評価をすればよいか？

**【学校側から回答】**

- ・学生の組織がある。学校祭や、熊本支援プロジェクトなどを行った実績がある。(武藤)
- ・ボランティア活動で現場から要請があった場合、仲介サポートを行っている。その現場で上手く関われない学生に対しての個別指導も行っている。(渡邊)

**【伊東委員から意見】**

- ・業務の効率化は改善されたか？

**【学校側から回答】**

- ・改善されていない。できる限り会議で情報交換を行っていたが、対応できる事項に関しては、メールでやり取りを行っている。職員が集まらない現状。(武藤)

**【工藤委員から意見】**

- ・全体的にみて、平成27年度よりも平成28年度の評価が上がっているので、努力されていることがわかる。

以上  
(記録：若生)